

三つ峠山山行報告

【山行日】2018年 12月 31(月)～1(火)

【集 合】岩舟町役場P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 13,000円

【メンバー】CL:鈴木、岩淵、津佐、鶴見、藤原

【コースタイム】31日:岩舟町役場 P7:00=いこいの森 P9:00/9:20～達磨石 9:40～股のぞき 10:30/10:40～八十八大師 11:10/11:50～四季樂園 12:30/13:00～三つ峠山 13:20/13:40～四季樂園 14:00



31日 晴れ後曇り いこいの森公園から三つ峠表登山道を登り三つ峠山山頂へ登った後、四季樂園に宿泊する。

今年も三つ峠山に登り富士山と初日の出を拝みたいとリクエストがあり、三つ峠山山行を計画した。岩舟支所を7時に出発し、予定通り9時にいこいの森駐車場に着く。目の前にこれから登る三つ峠



山山頂が青空の中に聳え、富士山の展望に期待が膨らむ。トイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。駐車場から舗装道を登って行き、平らな広場を左に橋を渡ると達磨石に着く。小休止し衣服調整をして、記念写真を撮ったら出発する。杉林の道を登り、林道に出た所が表参道の登山口になる。きつい急登が続くが、大曲と呼ばれる平坦地に出ると一息つける。ここから左に大きく曲がり、山腹を登って行くと「股のぞき」と言われる場所に着く。南東側が開け、富士山を初めて

見ることが出来る展望地で、二股に分かれた松の幹の間から秀麗な富士山を望むことが出来る。ここからも急登になり、馬返していったん傾斜が緩むがさらに急登が続く。天気は快晴で、左手に時折富士山を見ながら気持ちよく高度を上げて行く。やがて岩の間を登るようになり、愛染明王などの名前が付いた岩を過ぎると、石仏が斜面に並ぶ八十八大師に着く。平坦な場所にベンチが2つあり、富士山の展望も良く、毎回ここでランチタイムにする。定番のきのこうどんを作り、おにぎりやパン、トマトなどと一緒にいただく。デザートのリンゴや、お茶をいただいたら出発する。八十八大師をあとに山腹道を進んで、崩落地の斜面を通過し、凍った沢を2箇所渡る。この先の小さな尾根を越えると、屏風岩と呼ばれる巨大な岩壁の基部に着く。屏風岩はクライミングのゲレンデとして有名で、シーズンの休日は朝から順番待ちをするほどの盛況ぶり。冬場は人影も無く、大きなツララがあちこちに下がっていた。屏風岩を過ぎると最後の急坂になり、階段状の急登を一頑張りで今宵の宿「四季樂園」に着く。



受付を済ませ部屋に案内され、荷物を整理し少し休んだら三ッ峠山に向かう。カメラとおやつを持って



て登り、宿から15分で三ッ峠山頂に着いた。山頂からは富士山や南アルプスの大展望が得られ、今年は天気恵まれ午後でも眺望が素晴らしい。ゆっくり眺望を楽しみながらおやつを食べ、富士山や南アルプスをバックに写真を撮ったら下山する。来た道に戻り宿に着いたが、時間が早いので南側の木無山で南アルプスの展望を楽しみ、その先の岩場まで行きのんびり過ごした。

宿に戻ったら部屋で宴会が始まる。今回は2部屋

ある個室に泊れ、炬燵がある広い部屋で飲み始める。ワインやビールで乾杯し、賑やかにおしゃべりが盛り上がりワインを追加する。ワインが売り切れ、焼酎に切り替えて飲んでいると夕食の時間になる。四季樂園の大晦日の夕飯は豪華で、お刺身やエビフライ、お蕎麦など食べ切れない。我輩は刺身を肴にワンカップを飲み、至福のひとつきを過ごせた。部屋に戻ったら明日の準備をして、女性は炬燵の部屋で我々は隣の寒い部屋で床に就いた。布団や毛布が沢山あるので温かく、皆さん朝までグッスリ眠ることが出来たようだ。



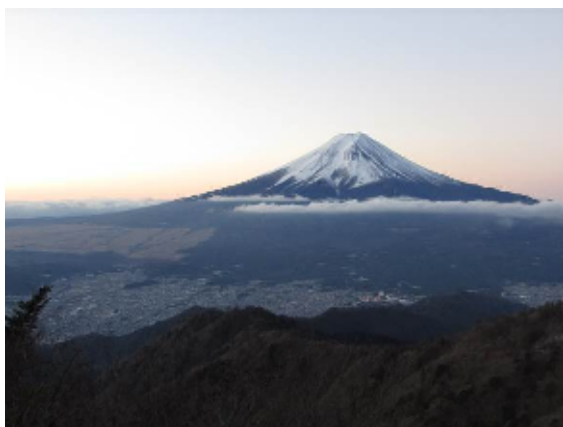
1日: 四季樂園 6:30～三ッ峠山 6:45/7:00～四季樂園 7:20/8:10～八十八大師 8:40/8:50～

股のぞき 9:20～いこいの森 P10:10/10:20＝羽生 PA11:35/12:20＝岩舟町役場 P12:45

1日 快晴 三ッ峠山頂で初日の出を拝み、四季樂園で朝食をいただき往路を戻り下山する。

朝6時前に起床し「今年も宜しく」とあいさつを交わし、初日の出を拝みに行く準備を始める。

今日も快晴で風も無く穏やかな天気で、絶好のご来光を迎えられそうだ。防寒対策を万全にし、6時



30分に宿を出て三ッ峠山に向かう。山頂に着くと、すでに大勢の人が日の出を待っていた。

人の間を縫って前に出て、何とか日の出を撮れる場所を確保する。東の空が真っ赤に染まって来たが、それから陽が出てくるまで時間がかかる。

富士山の山頂部には陽が当たり、赤く染まって来たのでシャッターを切る。15分くらい待って、ようやく2019年最初のご来光を拝め、オ～～と歓声が上がリ、カメラやスマホのシャッターを押しまくっていた。

初日の出と富士山の写真を撮ったら、メンバーを集

め山頂で記念写真を撮る。風も無く穏やかな元日で、今までで一番の好天に恵まれ幸先良い年だと思った。宿に戻ると御神酒と甘酒が用意され、皆さん温かい甘酒を美味しく飲んでた。食堂には朝食が用意され、温かいお雑煮とおせちが並び、シャケに納豆や卵も付いて食べ切れない。

お腹いっぱいになって部屋に戻り、帰る準備をしてトイレを済ませたら外に出る。



靴を履いたら宿の奥さんに挨拶し、宿の前で記念写真を撮り出発する。テラスの脇の階段を降りて行き、往路を戻って下山する。屏風岩まで下ると2m位の大ツララが落ちていて、それを皆で持ち上げて富士山バックに写真を撮る。下りは楽なので会話が弾み、大笑いをしながらアッと言う間に八十八大師まで下った。休憩を取り「どら焼きがあるよ」と言うが、「まだお腹がいっぱい」と言うので次

の休憩時に食べることにする。ここからも皆さんが若い時の話で盛り上がり、笑いながら下って行く。股のぞきまで下り、ここで最後の富士山を見ながらどら焼きをいただいた。ここからも快調に下り、予定通りいこいの森駐車場に下山した。靴を履き替え、トイレを済ませたら車に乗り帰路につく。

高速道も順調に走り、途中の羽生PAで昼食を食べお土産をゲットして岩舟支所に向かう。

2日間とも晴天に恵まれ、秀麗な富士山と厳かな

初日の出を拝め、今年一年が素晴らしい年になりそうだと予感できる山行だった。

